

# 県社協のひろば

## 企業界の成功者から経営者の姿勢を学ぶ

神奈川県社会福祉青年経営者会は、平成九年に本会経営者部会の支援と協力のもと設立され、本年で八年目を迎えます。

現在、県内の社会福祉事業を経営する法人で働く、二十三歳から五十歳までの次代の社会福祉事業の経営を担う青年経営者や、現場で中核的な役割を担っている中堅職員約九十名が会員として参加し、分野や職種の枠を超えて資質の向上に向けた活動を行っています。

特に最近

では、社会福祉情勢が大きく変革する中で、若い職員たちのエネルギーをどのように法人運営に生かし、より良いサービスにつなげていくか、また、「措置」から「契約」へ移行する中で、安定した法人経営を行っていくための経営基盤をどう構築していくかが大きな課題となっています。



高橋氏を交え会員が熱い思いを語り合った

そこで、去る六月九日に開催した研修会では、企業界で研鑽に励まれ成功者となった方から、そのチャレンジ精神や創造性を学ぼうと、ソフト・オン・デマンド(株)代表取締役の高橋がなり氏をお招きしました。

「脱安定！儲けること、創造することへの挑戦」と題した今回の研修会は、従来のような講師と参加者という講演会形式ではなく、高橋氏を中心にトークセッションの形式で、参加者が自由に話し合いました。

セッションでは、企業界の現在の動向や高橋氏のこれまでの経験などをお伺いしながら、経営者として必要な資質や能力について

話し合いがもたれました。参加者からは、職場の和を保つことや職員の資質・能力を見抜く力の大切さ、職員一人ひとりの能力を最大限に生かすことができる環境づくりの必要性などがあがるとともに、企業活動の良い点を法人運営に生かすためのノウハウ等について活発な意見交換がなされ、大変実りある研修となりました。

本研修会の内容のほか、神奈川県社会福祉青年経営者会の活動についてご興味のある方は、ホームページ (<http://www.kanapie.com>) を是非ご覧ください。

(社会福祉事業課)

## 平成15年度神奈川県社会福祉協議会監査意見書公告

本会定款第34号第2項の規定により、平成15年度事業・決算に関する監事監査意見書を次のとおり掲載いたします。

### 監査意見書

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会における平成15年度の業務の執行状況並びに財務の状況について、定款第13条の規定に基づき、監査したところ、業務は概ね適正に実施されていますが、次の事項について、改善を図るようお願いします。決算書類は、神奈川県社会福祉協議会の財産及び収支の状況を適正に表示しているものと認めます。

#### 1 組織運営や職員の意識改革について

社会福祉の諸制度の改革や福祉ニーズの多様化が進む中で、近年NPO団体や民間企業等が様々な地域福祉推進の活動や福祉サービスの提供を行うなど、福祉の担い手は多様化している。このような社会構造の変化の中で、広域的な地域福祉の推進役として、各種団体等との連携・協働や、今後さらにそのことを踏まえた対応を進めていくことが重要である。また、こうしたことから、効果的効率的な組織運営や必要に応じたスリム化を図り、常に職員の意識改革に努めていただきたい。

さらに、事業・組織・執行体制の見直し等については、次期県社協活動推進計画の策定に反映していただきたい。

#### 2 予算・資金管理と財務管理について

県社協事業の広がりとともに多額の予算・資金管理を行っており、平成14年度からは新会計基準に移行し会計処理も複雑になっている。また、執行等については一部改善すべき点が見受けられる。こうしたことから、予算・資金管理体制の明確化、適正かつ効率的な執行に努めるとともに、公認会計士などの専門家の指導、助言を受けることや外部監査の導入を図っていただきたい。

平成16年 5月13日

社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

夫 光 夫  
藤 融 喬  
川 築 内  
南 都 宮  
監 事  
監 事  
監 事